

瑞穂ケーブルテレビ株式会社
2019年度 番組審議会 議事録

日時：2019年12月5日（木）18：00～

会場：たかはしや

【出席者】

番組審議委員 4名（敬称略）

猪俣恒明（委員長）

石川 智

細渕浩昌

目黒克己

放送事業者側出席者 11名

荻野喜美雄（取締役会長）

佐藤敏光（代表取締役）

奥田貴哉（取締役）

田中洋子（取締役局長）

石井明美（取締役監査役）

森田一法（制作係長）

浅賀なつみ（制作課）

小山桃子（制作課）

鹿島美保（制作課）

岡村洋介（営業課長）

高橋 寿（営業課）

【次第】

1. 社長あいさつ
2. 会長あいさつ
3. 委員長あいさつ
4. 出席者紹介
5. 番組紹介
6. 意見交換
7. 取締役あいさつ

1. 瑞穂ケーブルテレビ社長挨拶（佐藤社長）

1年を振り返ると災害の多い年でした。甚大な災害が発生した際に情報を送る役目がケーブルテレビの使命と考えています。今年度の加入者数は、9月現在すべて純増で、順調に推移しています。

2. 瑞穂ケーブルテレビ会長挨拶（荻野会長）

全国のケーブルテレビ局の加入者数が純減となる中で純増となっているのは、地域の皆様のお陰です。ご協力に感謝します。

放送から通信へ移行する時代、弊社では地域 BWA※を推進しており、瑞穂町内においても無線サービスを開始しています。

※地域 BWA (Broadband Wireless Access) とは、地域の公共の福祉の増進やデジタル・ディバイドの解消を目的として導入された、2.5GHz 帯 (2,575~2,595MHz) の電波を用いた無線通信システム。瑞穂町内には現在、スカイホールにアンテナを設置している。

3. 番組審議委員長（猪俣委員長）

加入者が増えて、現在の加入率は 32% です。これは、町民 10,000 人以上がテレビを視聴できる計算です。コミュニティ放送は親しみがあって良いと思います。

2020 年は東京オリンピックが開催され、テレビの必要性が増すと考えています。今後も町民に愛され信頼される番組づくりを心掛けてほしいです。審議委員として中立な立場で、時には厳しい意見を出しつつ協力していきたいと思っています。

4. 番組紹介

●接続世帯数： 4,410 世帯 （加入率 32%）

加入可能世帯数： 13,922 世帯 10 月末現在

●年間取材本数： 1,000 本（12 月～11 月） （前年同期 972 本）

以下の番組を DVD で視聴し、事業者が内容を紹介。4 本を重点的に視聴しました。

※コンセプト：チャンネルを合わせれば瑞穂町が分かる!!

番組名	説明
デイリーニュース 「フレッシュ!みずほ」	2018 年 4 月開始。週 3 日放送。速報性を重視。 グループ局の中ではデイリーニュースに対する意識が一番高く、取材当日に放送している。
広報番組 「みずほニュース」	隔週木曜日更新。瑞穂町の広報番組。町の魅力や行政情報を発信。 職員の顔が見え、役場に親近感を持てる番組。

週刊ニュース 「のめっこ！みずほ」	行政関係・学校関係・コンサート・お祭りなど、 話題性や地域性のあるものを放送。 「警察・消防からのお知らせ」も放送。
情報番組 「みずたま」	町内外のお出掛けスポットを紹介する「みずたまりーな♪」と営業課からのお知らせ「みずほテレビ情報局」で構成。
舞台発表番組 「ENGEI!!」	町内で開催された演芸大会を放送。 カラオケ・民謡・踊りなど、極力ありのままを放送。
散歩番組 「ぶらり瑞穂の裏道」	放送開始から 10 年。町内を歩いて瑞穂町の魅力を発見する番組。 視聴率が高く、視聴者からの反響も大きい。
イベント紹介番組 「ズームアップ！みずほ」	町内で行われたコンサート・イベント・スポーツなどを放送。生中継番組の再放送も行う。
インタビュー番組 「この人に聞く」	瑞穂町のトップランナーに仕事への情熱を聞きながら、個人の魅力に迫る番組。
新番組 「町長に聞く」	「この人に聞く」の放送枠で 1 月・4 月・7 月・10 月に放送。町政施策、今後の展望をわかり易く伝える番組。また一個人としての町長の人柄も紹介。
子どもサイエンス番組 「科学で遊ぼう」	町内の小学生が参加しながら科学について学ぶ「子供向け」科学番組。毎回テーマを設け、子ども達が科学に興味を持つ機会になるよう制作。
災害報道・災害番組	台風 19 号による状況速報及び被害状況を放送。
瑞穂町町議会選挙生中継	4 月町議選を 3 時間 30 分実況生中継で放送。
改元特番	「令和婚」等、改元に因んだ話題を特別番組として放送。

5. 意見交換 （議事進行／猪俣委員長）

委員：災害報道は非常に良い。異常気象が通年気象になりつつある現状で、地元の情報欲しいので、ケーブルテレビが視聴できる環境で良かったと思う。

また、役場がどんな動きをしているかが分かり避難所情報を知ることができる。

事業者：瑞穂町の危機管理官との間で、定点カメラの設置が必要との意見がある。

避難所開設時など非常時は「無料 Wi-Fi」に切り替えられるよう、避難所となる公共施設には常設での Wi-Fi 導入をお願いしたい。

委員：同じ映像でも、スピード対応した放送は価値があると思う。

委員：台風 19 号が上陸した際、役場では災害対策本部を設置し、災害情報はホームページの更新やメール配信等で随時発信していた。しかし、伝わり切れない

部分は否めない。ケーブルテレビが映像で町内の様子を放送してくれたことは非常に良いと思う。文字では伝え切れない部分がある。映像配信はインパクトがあるので、災害時は特に必要と感じる。

委員：町民の立場になって、役場とケーブルテレビが協力して対応して欲しい。

委員：年間を通して番組視聴をしているが、イベントの情報等、行政とのコンタクトは取れているのか。

事業者：町の広報課から情報提供があり、可能な限り取材に行っている。

委員：町歩きの番組等、視聴率は取れているのか。

事業者：瑞穂エリア以外の入間エリアでも視聴されているため視聴率は高い。

委員：「ぶらり瑞穂の裏道」は町民が知らない場所を取り上げているため興味深い。

事業者：瑞穂町はイベントの多い町で、従って生放送も多い局となっている。

委員：町全体がケーブルテレビに協力的な体制になっている。

委員：「瑞穂町駅伝競走大会」の放送は、大変ご苦労があると思う。

事業者：町内会チームをメインに撮影して放送する予定。秋の全町体育祭が中止になっているため、駅伝の生放送はしっかりと行いたい。

委員：4K 放送について現状を知りたい。

事業者：現時点では 4K カメラで取材しているが、システムが 4K 未対応 のため配信は 2K (ハイビジョン) で行っている。「瑞穂の四季」を 4K カメラで撮り、「みずたま」のコーナーで放送中。

委員：高齢者の方から、お隣のテレビではコミュニティ番組が視聴できるのに、家では視聴できないなどの声を聞くことがある。

事業者：「みずほ体操」は瑞寿連加盟団体ごとに訪問し放送しているため、収録をきっかけに加入する方がいる。

委員：小中学校へケーブルテレビ導入後、学校は活用しているのか。

事業者：校長室に STB (ケーブルテレビ専用チューナー) を置いているため、取材されれば必ず視聴しているという校長先生もいらっしゃる。また、各学校にブルーレイ対応の STB を設置しているため、ディスク録画を利用すれば生徒も視聴が可能。

6. 瑞穂ケーブルテレビ社長お礼挨拶 (佐藤社長)

いただいた貴重なご意見は、今後の番組づくりに反映させていきます。瑞穂ケーブルテレビは開局 16 周年を迎えました。皆様のご意見を忘れず、今後も精進していきたくと思います。

以上